

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」備前三門校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		パーティションで区切り、支援ブースを確保している。 支援に集中できるよう、広すぎ狭すぎないスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	支援時には、所内のドアを閉めることで、支援室と相談室を意識することができている。 生活空間は構造化されている。 施設内はフラットに保たれている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	適度に清掃をして、ブース内は各職員が適宜消毒をしている。 パーティションを動かせば広いスペースも確保できる。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		担当職員と児発管が基本ではあるが、ミーティング内で共有している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者にはご意見があればいただけるようにお伝えしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			LINE やブログなどを通して、利用者の方に情報が伝わるようにしていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	実施できていない。	検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		事例検討等、定期的に研修がある。 回数が多いことで職員の支援準備の負担になっていると感じることがあるが勉強にはなっている。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		事業所内相談の件数が増え、客観的に評価する機会が増えた。	お仕事等のご都合でお話がお伺いできていない保護者の方に対しても、調整を継続していく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		キラカフェ、家庭連携などを積極的にアナウンスし、支援内容に反映している。利用者のニーズに合わせて支援内容を設定している。	お子様や保護者の方のニーズに合わせて支援の形、相談の形はご相談させていただきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		計画時から意識できしており、支援前にも確認するようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		ミーティングで話をしている。相談できている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		複数担当にしている。同じプログラムが続かないように工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	小集団が実施可能な時は適宜組み合わせている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		当日の役割分担やお願い事は話し合っている。週1の大きな会議がある。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		ミーティングで共有している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		できるだけその日のうちに記録を取るようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的実施している。	
関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		担当、管理者、児発管の中から、ふさわしいものが参画している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	訪問看護等とも連携している。全ての利用者に保証で来ているわけではない。	

者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			幼稚園から見学に来られたり、行ったりと相互理解や情報共有を図っている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5				
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		同じ学区内でそういった機会を設けてもいいかもしれない。	もっと意識して連携したい。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4			現在このような機会は設けていませんので、要望がある用でしたら検討させていただきます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		参加したい。	コロナのこともあり、参加できていない。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		フィードバック、電話、事業所内相談などを活用している。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		事業所内相談やキラカフェを活用している。	していきたいと思う。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			管理者に任せている。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			丁寧に説明するように心がけ、同意を得られている。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			相談があった時には適切に応じることが出来る。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			キラカフェを実施し、保護者同士の連携を図る機会を設けている。	

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5					
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			ブログ担当を中心に発信している。月2回。		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5			意識して行動している。鍵付きロッカーで保管している。	支援終了後は、ファイルを片付けるなど細かいところまで配慮していきます。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5					
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		地域との関わりがほとんどない。見学は随時受け入れている。	現在、イベント等は実施していないので、見学等を通じて開かれた校舎を実現してまいります。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		月に1度の防災訓練を実施している。全ての保護者に完璧にと言われると少し難しい。	LINE等で情報発信してまいります。
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			月に1度の防災訓練を実施している。	
		④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1		アセスメントシートを把握し、その日の状態なども確認している。	
		④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		飲食は実施していない。	飲食の提供はしていませんが、アレルギー等の聞き取りは行っております。
		④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットを報告・共有している。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止研修に参加し、意識している。		
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5					

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」備前三門校

保護者等数（児童数）：11 回収数：11

割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	4			少し狭そうに思う。広くはないが、狭すぎることもない。子どもが落ち着いて取り組めるスペースを確保してくれている。もう少し広くてもよい。	限られたスペースではありますが、お子様の活動に合わせて、支援スペースを工夫させていただきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1		1	適切	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1			自分の子供が特に困っている様子はない。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11				ニーズや課題に応じて、児童発達支援計画が作成されている。	保護者の方と情報共有をさせていただきながら、計画を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8			3	いつもいろいろなプログラムで楽しく過ごせています。いろいろしていただいている。	お子様が活動に飽きることがないように配慮しております。一方で、ルーティンが崩れると嫌なお子様もいらっしゃるのでは、その子その子に合わせて

								プログラムを考えています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	2	3	現場を見ていないのでわからない。	現在このような機会は設定しておりませんので、保護者の方のご要望があるようでしたら検討させていただきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	1			変更があればその都度説明がある。きちんと説明を受けた。	変更ごとに説明をさせていただいております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	2		3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	1			毎回聞いてくださっている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2			いつもありがとうございます。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2		3	参加できていないので分からない。	今後もキラカフェを実施させていただき、保護者の方同士のつながりの機会も確保してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	2				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	0	1			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	4		1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	2				
	非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	1		2	

の 対 応	②①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		6	避難訓練は月1回実施しておりますので、利用者の方に情報が伝わるように、LINE等でお知らせしてまいります。
	満 足 度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		毎回楽しみにしている。
②③		事業所の支援に満足しているか	10	1			いつもきりにいくのを楽しみにしています。いろいろなことを教えてくださり、また、経験させてくださり、ありがとうございます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。